

MORIOKA YMCA NEWS

盛岡YMCAの使命

私たち、盛岡YMCAは、イエス・キリストによって示された生き方に学びつつ、豊かな自然と歴史的伝統に満ちた岩手の地で、こども、家族、地域とともに公正で平和な世界の実現を目指します。

1. こどもたちの個性を大切にし、それぞれの夢や希望、生きる力を育みます。
2. 家族の絆といのちの大切さを深め合います。
3. 共に生きるために、異なった文化、多様な価値観と出会う場を提供します。

2012年4月号 2泊3日で友だちいっぱい!



発行人：濱塚有史 編集人：家村知佳 発行所：特定非営利活動法人 盛岡YMCA 岩手県盛岡市本町通3-1-1
TEL 019 (623) 1575 e-mail: morioka@ymcajapan.org URL: <http://www.ymcajapan.org/morioka/>

「だいじょうぶ だいじょうぶ」

中井 貴恵 (大人と子供のための読み聞かせの会 代表)

私たち大人と子供のための読み聞かせの会は4月7日山田町8日宮古市にて読み聞かせの公演をおこないました。

岩手県の山田町は夫の母方のふるさとにあたります。

結婚してから何度、三陸を訪れ、碧く深くそして穏やかな三陸の海に心癒やされたことでしょう。その海が津波となって牙をむき、たくさんの貴い命を奪っていったあの日のことは私にとってもとても悲しい現実となりました。

その後昨年の6月に避難所になっていた織笠小学校を訪れ避難生活をされている皆さんとお会いしました。

いつかこの体育館が避難所でなくなったら、ここに大型絵本を持って訪れ読み聞かせの会をひらきたい…。その思いが盛岡YMCAのご協力で実現の運びとなったのです。

私たちの読み聞かせは大型絵本と朗読と生の音楽という三つの柱からなる読み聞かせです。

何よりも絵本が放つメッセージを子供だけでなく大人のみさんにもうけとめてもらいたくてこの活動を14年続けています。

今回聞いていただいた「だいじょうぶだいじょうぶ」は孫の男の子とおじいちゃんの物語。大きくなるにつれ様々なことを経験していく男の子、それは楽しいことばかりではありませんでした。どんなつらいことや困難にぶちあたってもおじいちゃんはいつも男の子に「だいじょうぶだいじょうぶ」と優しく語りかけます。「がんばって」「前を向いて」「希望を捨てないで」たくさんの言葉を震災以降耳にしましたが、私たちはもう十分希望を捨てず前を向いてがんばってきた被災地のみなさんに今伝えたいことはこの「だいじょうぶ」というメッセージでした。

今回の被災地公演が終わり今私たちの夢は「だいじょうぶキャラバン」と題して継続的に被災地を訪れること。もっともっとたくさんの場所を訪れ、たくさんのかたたちにこのメッセージを伝えていきたいと思っています。

今回の公演でお世話になった皆様、本当にありがとうございました。

アドベンチャー3月活動 「2泊3日 潟分校！！」

2011年度アドベンチャーの最後を締めくくったのは、「2泊3日思いっきり潟分校！」。3月30日～4月1日、25人の子どもたちと9人のリーダー・スタッフは楽しくて仕方のない3日間を過ごしてきました。はじめましてのお友だちとも3日も経てばもう仲良しです！

はじめの環境やお泊りで出発までの時間は少し緊張気味の子もいましたが、潟分校までのバスの中、歌って騒いで大いに盛り上がりました。途中で夕飯の買い物のためスーパーに寄り、無事潟分校に到着。校庭にはまだまだ大量の雪が残っていましたが、雨が降り出してきて外には出られず…。それでも、分校の中で様々な遊びが繰り広げられていました！バドミントン、卓球、おにごっこなどなど。古めかしい作りの校舎は、それだけで子どもたちをはしゃがせるのです。

そして、潟分校名物「たくあん」と「いぶりがっこ」に子どもたちもリーダーもみんな夢中！潟分校のゆうこさんもたくあんやいぶりがっこの皿が空っぽになるたびに速やかに新しく出してくれるため、子どもたちも大喜びでした☆

男の子も女の子も、低学年も高学年も、リーダーだって、みんなごちゃ混ぜで遊び、多様な関わりが見られ、また、遊ぶだけではなく子どもたち自身でご飯づくりや準備・片付けを行い、生活の中での苦労も知ったのではないのでしょうか。しかし、それすらも遊びの延長で、友達とやることで楽しくなっている子がほとんどでした。成功、失敗、発見、再確認…3日間生活の中でいろいろな経験し、子どもたちの心の中に残るものがあってくれればいいなあと思っているところです。

(家村)

→ 給食のよう
にグループ
で机を合
わせて食
事です。



→ 夕飯に秋田ならではの「だまこ汁」女の子たちが1つ1つ丁寧丸めてくれました。



← 慣れない包丁もリーダーと一緒に安心です。真剣です。



すべて木造で、年配の方には懐かしく、子どもたちには新鮮な校舎。とても落ち着く空間です。

→ 潟分校を出発する間際の集合写真



☆ リーダー紹介 その① ☆



私、おたまが紹介するよ！

こんにちは、「おたま」こと盛岡大学・栄養科学部2年の澤口葉です。今回はおたまから「ぷー（ごぼう）リーダー」について紹介したいと思います。

ぷーリーダーとは…、盛岡市出身、盛岡大学・栄養科学部の2年生、高橋ちひろのことです。私とぷーが出会ったのは、さかのぼること4年前…高校生の時でした。毎年クラス替えがあったのにもかかわらず、3年間同じクラスで過ごしました。

中学・高校とソフトボール部で活躍し、今でもボールさばきは衰えません！とてもカッコいいですよ♥また、料理がとても上手で、私の誕生日にケーキを作ってくれたこともありました♪

明るくふるまいながらも、内に熱い情熱を秘め、冷静に物事を判断できるところがぷーの良いところです！そして、とってもおもしろいリーダーですよ！！

以上、ぷーリーダーの紹介でした。

来月は、ぷーリーダーからおたまリーダーの紹介をしてもらいます！互いによく知っているだけあって、未だ見えぬ新たな一面が暴かれるかも…。おたのしみに♪



ぷーです。



○大人と子供のための読み聞かせ会

4月7日・8日、女優の中井貴恵さんを代表とする「大人と子供のための読み聞かせ会」が「盛岡YMCAふれあい交流プログラム」として大型絵本の読み聞かせをしていただきました。会場は、7日に山田町立織笠小学校、8日に宮古市立赤前小学校で行われ、「だいじょうぶ だいじょうぶ/いとうひろし作・絵」と「おおきなかぶ/トルストイ作・中井貴恵翻訳」が発表されました。両日とも、たくさんの方々にお越しいただきました。

読み聞かせは照明をおとした会場で、手話を用いて行われました。1作品目の「だいじょうぶ だいじょうぶ」は、おじいちゃんと孫の心あたたまるお話で、世界に一つしかない18弦の琴や尺八、ピアノの音色によって、心に優しくじんわりとしみ込んできました。「ほんもの」の演奏に小さい子も引き込まれ、聞き入っていました。2作品目の「おおきなかぶ」はみんなが知っているお話しとは少し違い、たくさんのお野菜や愉快な動物たちが出てきました。にっこり聞き入る子、ケラケラと笑いだす子、あっという間に楽しい時間が過ぎました。

最後に会場みんなできれいな楽器の音色に合わせて、「ふるさと」を合唱しました。何度歌っても、この中に暖かな火が灯るようです。岩手はまだまだ寒いですが、体育館の中は何か春を感じさせるようでした。また、中井貴恵さん方「大人と子供のための読み聞かせ会」の皆さんは全国で公演され、各地からお預かりされた募金を山田町に贈られました。

今回、この公演を開催するにあたり、ご協力いただいた多くの方々にご心より感謝致します。



4月8日
赤前小学校での公演の様子。 ←



4月8日（赤前小学校）↑
での公演終了後、スタッフ関係者全員での記念撮影



↑ 4月7日（織笠小学校）
公演が始まる前に、使われる楽器の紹介が行われました。

↓ 4月8日（織笠小学校）
織笠小学校での公演の様子。
約140名の方にお集まりいただきました。



4月7日 →
（織笠小学校）
幕間のひとこま。中井貴恵さんと子どもたち、YMCAリーダーとの交流のひと時。



三陸被災地チューリップ里親運動の経過報告

マザー・テレサは「私たちは水路ではなくて道具なのです。神様の手に握られた小さな鉛筆です。神様が美しく書いてくださいます」と、人間の働きの目的と使命をのべています。私たち1人ひとりが、神様の小さなエンピツであると思います。

2011年11月から3月中旬までの冬の期間、チューリップの球根が植えられたプランターを盛岡市の教会、幼稚園、盛岡YMCA、またボランティアの人たちが管理してくださいました。それらのプランターは約300個になり、そのうち120個は3月中旬に盛岡YMCAが活動している宮古地区の仮設住宅へ、ボランティアセンターの大塚さんが届けてくださいました。

3月23日（金）には山形村チャペルの嵯峨力雄さんが野田村役場へ連絡され、野田中学校仮設住宅とえぼし荘仮設住宅へ届ける手配をし、3月28日（水）朝、雪と風の悪天候の中を盛岡YMCAの車に濱塚有史総主事と角谷で110個のプランターを積み込み、野田村へ参りました。辻鼻課長と大沢主任に出迎えていただき、村長室で小田祐土村長にプランターの説明と写真を撮り、役場を後にしました。野田中学校仮設住宅には104戸の仮設があります。総代の畑村茂さんはじめ、住民の方々が待っていてくださり、列をなしてプランターを受け取って行かれました。さらに、チューリップの後にまくレタスの種も一緒に配りました。仮設は殺風景で、住民の方々はいずれ咲き始めるチューリップをととても楽しみにしておられました。次に向かったえぼし荘仮設住宅でも、チューリップとレタスの種は大変喜ばれました。



野田村中学校仮設住宅（104戸）

4月のはじめには、内丸教会の中原真澄牧師が、陸前高田及び大船渡の仮設住宅、気仙沼の仮設住宅へチューリップを運んでくださいました。

5月には滋賀県・アシュラムセンター主幹牧師の榎本恵牧師の一行がミニトマトのプランターを届けてくださいました。

レタスの種は、鹿児島県のさつま環境蘇生を考える会の村上光信牧師が送ってくださったものです。

冬期期間、盛岡市のたくさんの方々が里親として球根を守ってくださり、今度は沿岸の方々が花を咲かせてくださいます。感謝です。

このチューリップ里親会の加盟団体は盛岡YMCA、内丸教会、山形村チャペル、さつま環境蘇生を考える会です。皆様のご支援を深く御礼申し上げます。



こぼれ種⑬ 「子ども達を妨げてはならない」

日本基督教団内丸教会牧師（元日本YMCA同盟 主事）

中原真澄

先日、隣の盛岡幼稚園に招かれて入園式に出席しました。幼い子が20人ほど、親と並んで緊張した面持ちで座っています。名前を呼ばれて大きく元気な声で答える子もいる一方で、小さい声の子も、もじもじとお母さんにしがみついてお返事のできない子もいます。見ているお母さんやお父さんからすれば、大きい声でハッキリ答えられる子と比べて「どうして自分の子は…」と思ったかも知れません。でも私は、か細い声で答えた子にも、声が出なかった子にも、「いいよ、いいよ。よかったね」と声をかけてあげたい気持ちで一杯になります。自分も昔は、大声の出せない子どもだった事もあります。子ども一人ひとり、その時の成長のバランスも違えば、その日の気分も様々…一つの物差しでは測れないと思うからです。その時の自分にあった元気さ、速さ、時間、バランスというもの（それは大人も同じ…）があるでしょう。

ある日、イエスが弟子たちに教えていると、幼ない子を祝福して貰おうと、母親たちが手を引き、抱いてやって来ました。大人の男たちが大事な学びをしているのに、邪魔だ！…弟子達は母親や子どもを叱ります。それを見てイエス様は激しく怒り、「子どもたちを私のところに来させなさい。したいようにさせてあげなさい」と言って子ども達を抱き上げ、祝福したのです。

大人の期待や都合で、私たちは子どもを測りがちです。でも、子どもは子ども達それぞれの思いと願い、辛さや努力を内に抱えています。そんな子ども達（大人も…ですね、きっと）の心に寄り添って歩むYMCAであり、大人の一人ひとりでありたいと思います。

イエスに触れていただくために、人々が子供たちを連れてきた。弟子たちはこの人々を叱った。しかしイエスはこれを見て憤り、弟子たちに言われた「子ども達を私のところに来させなさい。妨げてはならない。神の国はこのような者たちのものである」。(マルコによる福音書9章13～14節)

5月の予定

★5月3日（木・祝）～6日（日） YMCA休館日

★5月20日（日） アドベンチャー5月活动「火付け！野外調理に挑戦！」（於：つどいの森）

～表紙の写真よ！～



3月アドベンチャー「2泊3日思いきり潟分校」での1枚。

女の子たちが2日目の昼食のおにぎり作りを手伝ってくれました。大きさ、形、味も様々！ひたすら遊びに夢中になっていた子たちはお腹ペコペコで、大量のおにぎりもぺろりと完食！（3月31日 潟分校）

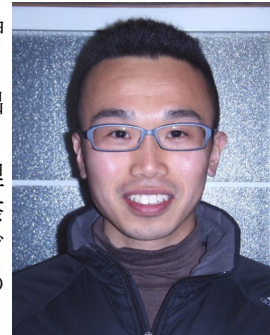
横浜からやって来た！盛岡YMCAの新しい顔！！

★ 新スタッフ紹介 ★

はじめまして。この4月から盛岡YMCAに赴任した神田橋慧一です。3月までは横浜YMCAで勤務しており、この4月から再来年（2014年）3月まで2年間、出向という形で異動してきました。

横浜YMCAでは、神奈川県より指定管理者として管理運営を委託されている「YMCA三浦ふれあいの村（神奈川県立三浦ふれあいの村）」で、6年間、小学校の子どもたちを主な対象に海での活動などの野外プログラムの指導や施設管理等に携わってきました。

盛岡では、向中野センターの学童保育と向中野水泳教室を担当します。不慣れなことばかりですが、盛岡YMCAが地域に欠かせない存在となるよう、多くの方とのつながりを作れる働きをしていきたいと思っております。よろしくお願ひします。



* アドベンチャー・サンデースクール年間予定 *

☆アドベンチャー☆

- 5月 「野外調理に挑戦！」
- 6月 「テントに泊まろう！」
- 8月 「小川探検！！」
- 9月 「秋の潟分校キャンプ！」
- 10月 「焼き芋つくるぞ！」
- 11月 「秋を探してみよう！」
- 1月 「日帰りスキー！」
- 2月 「スキー&雪まつりキャンプ」
- 3月 「2泊3日潟分校満喫キャンプ」

♪サンデースクール♪

- 6月 「ペットボトルロケット」
- 7月 「手作りアイス」
- 9月 「ブーメラン作り」
- 10月 「餃子パーティー」
- 11月 「スノードーム作り」
- 2月 「万華鏡作り」
- 3月 「火も包丁も使わない料理」

●寄付金

角谷晋次

●維持会費

角谷晋次、角谷千代子

●東日本大震災被災地支援募金・献品
茨城YMCA

感謝

2012年4月25日現在
順不同・敬称略